東海大学大学院
医学研究科

教員紹介

領域（医学部組織）
総合診療学系健康管理学

専門分野キーワード
循環器内科学、予防医学

教員氏名	馬場 彰泰（ばば あきやす）
取得学位	博士（医学）
現在の身分（役職名）	教授
専門分野	循環器内科学、予防医学
現在の研究課題	予防循環器病学、先制医療、心房細動の発症予測、心臓に対する液性免疫異常
所属学会	日本内科学会（総合内科専門医）、日本循環器学会（専門医）、日本心臓病学会（FJCC）、日本心不全学会、日本医学会認定産業医、日本人間ドック学会（専門医指導医）、日本総合健診医学会、日本アフェレシス学会（専門医）

研究内容

心不全アフェレシス治療が重症心不全患者の液性免疫異常に対する有効な治療手段となりうることを、2000～2017 年度に公的研究費を用いて、臨床的・基礎的に報告してきました。この研究過程で、心臓に対する自己免疫異常が、予防循環器病学にも関連する可能性があることが分かり、今後は本学において研究継続の予定です。これまでに北里大学薬学部の修士論文、博士論文の実験指導経験があります。具体的な今後の研究テーマは以下のとおりです。心原性脳梗塞の原因となる心房細動は、病理学的には心房心筋炎であり、心電図所見が出る前から心臓に対する自己抗体が検出される症例が存在します。さらに今後、顕性・不顕性を問わず様々なウイルス感染症・免疫反応によって、心筋炎等どのような影響が心臓に長期的に出るかも慎重に見極めなければならないと考えています。

主要論文

1. Yoshikawa T, Baba A, Akaishi M, Wakabayashi Y, Monkawa T, Kitakaze M, Izumi T, Tomoike H. Immunoadsorption therapy for dilated cardiomyopathy using tryptophan column-A prospective, multicenter, randomized, within-patient and parallel-group comparative study to evaluate efficacy and safety. J Clin Apher. 2016; 31:535-544. IF1.84

2. Moriguchi T, Koizumi K, Matsuda K, Harii N, Goto J, Harada D, Sugawara H, Hoshiai M, Kise H, Baba A. Plasma exchange for the patients with dilated cardiomyopathy in children is safe and effective in improving both cardiac function and daily activities. J Artif Organ. 2017; 20:236-243. IF1.22

3. 馬場彰泰. 心不全アフェレシス治療の臨床研究の現況. 日本アフェレシス学会雑誌. 2019; 38:121-124.

4. 斯波真理子,野原淳,槇野久士,日高寿美,佐藤元美,馬場彰泰. 循環器疾患におけるガイドラインの位置づけ.日本アフェレシス学会雑誌. 2019; 38:227-232.

Copyright (C) 2021 東海大学大学院医学研究科. All Rights Reserved.